

和食を中心とした日常食をHigh quality,Low priceで！

株式会社 カルラ

平成21年2月中間期
決算説明会

平成20年10月17日



目次

平成21年2月中間期の経営成績概況

- 1.当期の業績ハイライト……………2
- 2.H21／2期施策と取組状況…………… 9
- 3.H21/2期 下期・通期計画……………24

(注) 当社は、H20/4に子会社「(株)ネットワークサービス」を設立し、当中間決算期から連結決算を実施しております。本決算説明会資料では、特にお断りしない限り、すべて単体の数値を用いております。

(単体の売上高は、連結売上高の99.9%を占めております。)

貸借対照表

(単位:百万円、%)

	前期末(H20/2)		当期中間期末(H20/8)			主な増減要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	
流動資産	772	11.2	724	10.6	△47	
現金及び預金	398	5.8	326	4.8	△72	
棚卸資産	163	2.4	206	3.0	43	
固定資産	6,101	88.8	6,102	89.4	1	減価償却による減少
有形固定資産	4,399	64.0	4,352	63.7	△47	
無形固定資産	100	1.5	103	1.5	3	
投資その他の資産	1,600	23.3	1,647	24.1	46	
総資産	6,873	100.0	6,827	100.0	△45	
流動負債	1,509	22.0	1,803	26.4	293	
短期有利子負債	935	13.6	1,105	16.2	170	
固定負債	2,754	40.1	2,472	36.2	△282	
長期有利子負債	2,546	37.1	2,270	33.3	△275	
株主資本	2,609	38.0	2,552	37.4	△57	配当金支払い

(注)平成21年2月期中間決算短信P.25をご参照ください。

損益計算書（前期・計画比較）

（単位：百万円、％）

	前中間期		当中間期				中間計画			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	差異金額	金額	構成比	計画比	差異金額
売上高	5,058	100.0	4,657	100.0	92.1	△401	4,906	100.0	94.9	△249
売上原価	1,550	30.6	1,500	32.2	96.8	△50	1,566	31.9	95.8	△66
売上総利益	3,508	69.4	3,157	67.8	90.0	△351	3,340	68.1	94.5	△183
販管費	3,444	68.1	3,093	66.4	89.8	△351	3,195	65.1	96.8	△102
営業利益	64	1.3	64	1.4	100.0	0	145	3.0	44.1	△81
営業外収益	24	0.5	27	0.6	112.5	3	11	0.2	245.5	16
営業外費用	37	0.7	52	1.1	140.5	15	37	0.8	140.5	15
経常利益	51	1.0	39	0.8	76.5	△12	119	2.4	32.8	△80
特別損失	63	1.2	2	0.0	3.2	△61	60	1.2	3.3	△58
税引前利益	△12	△0.2	37	0.8	—	49	59	1.2	62.7	△22
法人税等	26	0.5	20	0.4	76.9	△6	45	0.9	80.0	△9
法人税等調整額	68	1.3	16	0.3	23.5	△52				
当期純利益	△106	△2.1	1	0.0	—	107	14	0.3	7.1	△13

収益構造（売上高構成比の前期・計画比較）

	前中間期 実績	当中間期 実績	差異	中間期計画
原 価 率	30.6%	32.2%	+1.6%	31.9%
人 件 費 比 率	32.9%	32.0%	△ 0.9%	31.6%
エ ネ ル ギ ー 費 比 率	6.5%	7.4%	+0.9%	7.2%
諸 経 費 比 率	11.1%	9.7%	△ 1.4%	9.9%
固 定 費 比 率	17.6%	17.4%	△ 0.2%	16.4%
販 管 費 比 率	68.1%	66.4%	△ 1.7%	65.1%
営 業 利 益 率	1.3%	1.4%	+0.1%	3.0%
経 常 利 益 率	1.0%	0.8%	△ 0.2%	2.4%

キャッシュフロー

(単位:百万円)

	前中間期	当中間期	前事業年度末
現金等の期首残高	436	398	436
営業活動によるCF	329	313	140
投資活動によるCF	△220	△210	△269
財務活動によるCF	△47	△167	91
現金等の中間期末残高	497	335	398

営業活動によるCF： 減価償却費215百万円の計上、仕入債務の増加90百万円等によるものです。

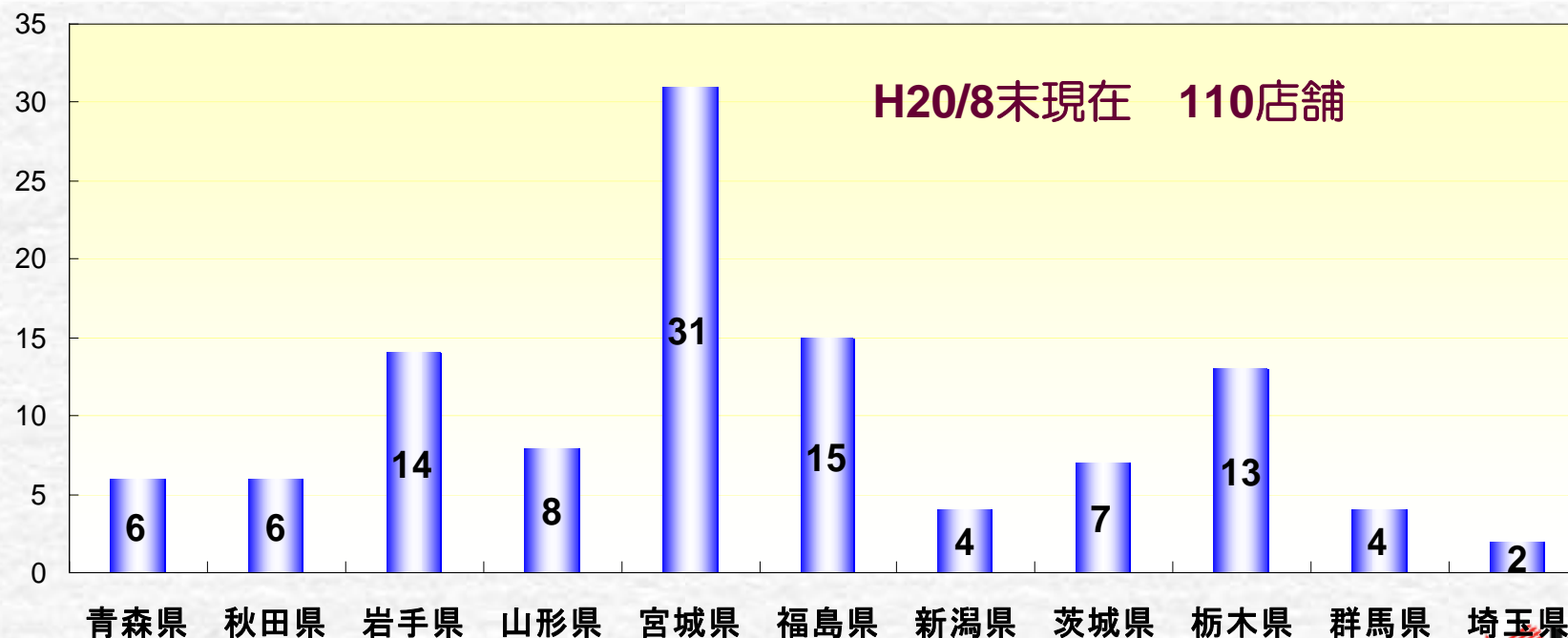
投資活動によるCF： 新規出店店舗等の有形固定資産の取得、敷金・保証金、設協力金の支払等によるものです。

財務活動によるCF： 借入金の返済、配当金の支払等によるものです。

(注)平成21年2月期中間決算短信P.11 及びP.30をご参照ください。

「まるまつ」店舗数推移と県別店舗数

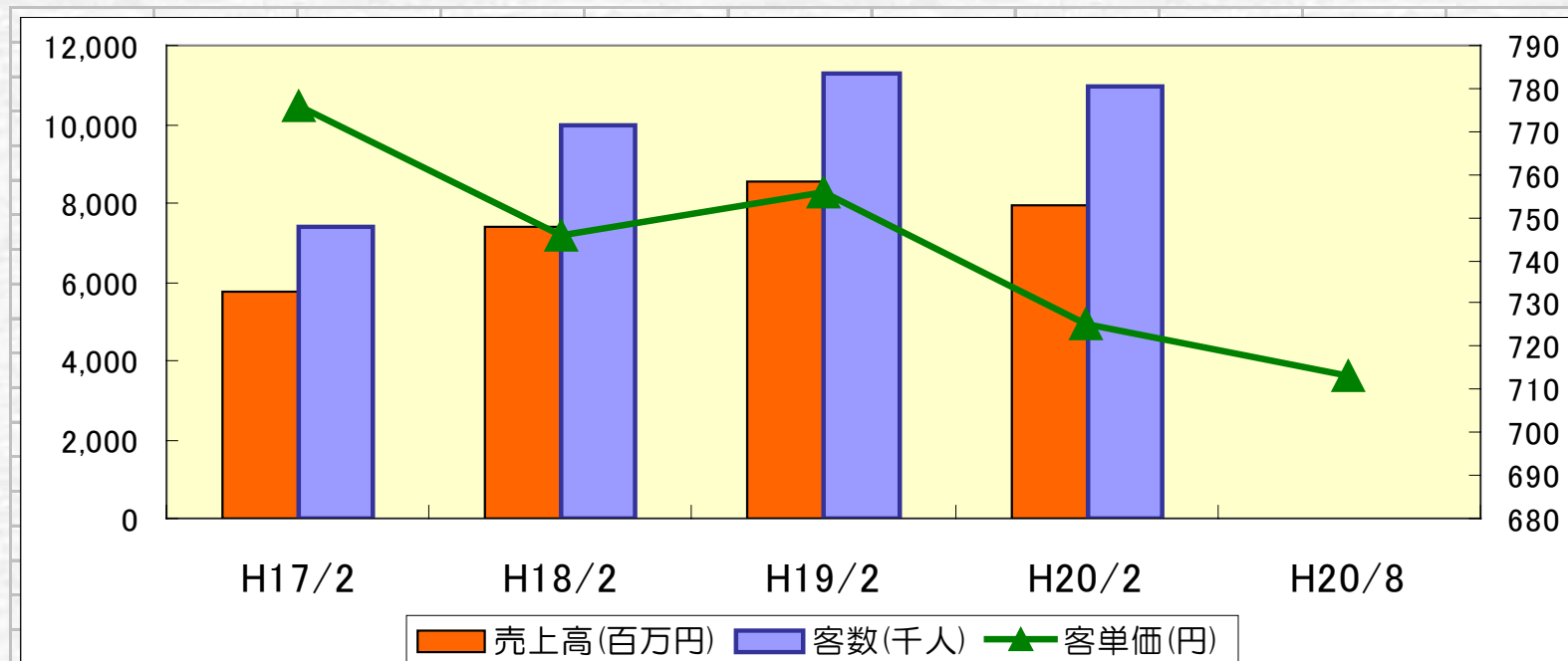
	H18/2期		H19/2期		H20/2期		H21/2期	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期(予)
出店数	6	9	11	8	4	2	3	0
退店数	0	0	0	0	0	2	2	1
期末店舗数	77	86	97	105	109	109	<u>110</u>	109



6 和食を中心とした日常食を High quality, Low price で!

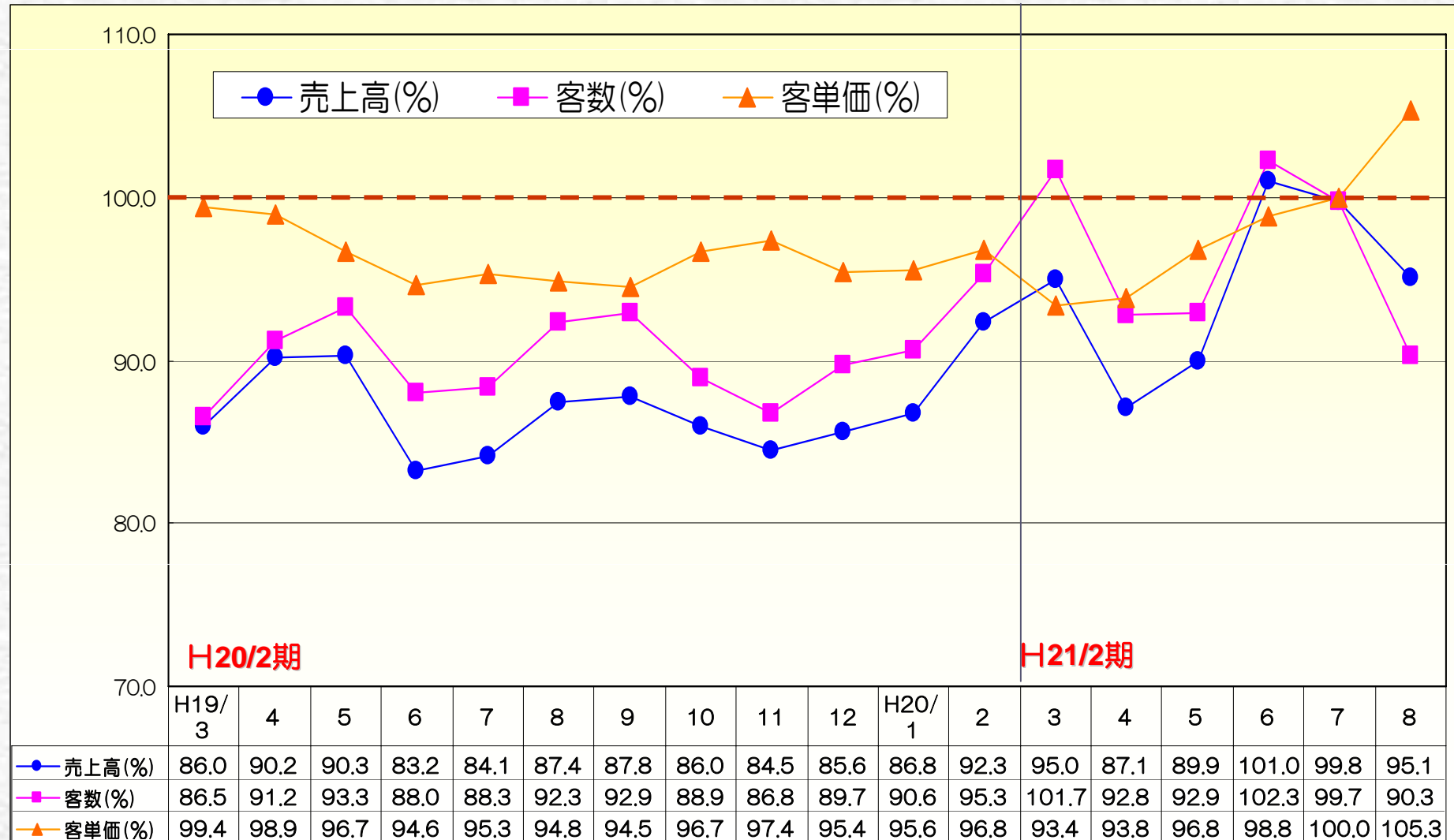
売上高・客数・客単価の推移(まるまつ)

	H17/2	H18/2	H19/2	H20/2	H20/8
売上高(百万円)	5,757	7,419	8,548	7,957	
客数(千人)	7,421	9,946	11,313	10,969	
客単価(円)	776	746	756	725	713



7 和食を中心とした日常食を High quality, Low price で!

まるまつ既存店売上動向（前年同月比）の推移



H21/2期の施策

1. 商品力の強化
2. 業務システムの抜本的改革による
ローコスト・オペレーションの構築
3. 優秀な人材の確保と社員の能力向上
4. 部門別予算管理システムの確立による
経費10%削減

H21/2期の施策

1. 商品力、商品開発力強化

(1)ごはん・玄米を自社調達、自社工場で精米し
無洗米に加工、日配で店舗に納入
店舗で炊き立てを提供するシステム



H20/3/6 精米機稼働

H20/3/17 店舗への納入
開始

年間使用量1千トンの手配
(今秋分 宮城県産を中心に確保)



H21/2期の施策

(2)味噌汁

具材は旬の食材にこまめに変更

(3)お新香

2アイテム以上の
組み合わせ
着色料、保存料は
使わない



(4) ランチと朝食への取り組み

H21/2期の施策

ランチメニューの取り組み

リーズナブルに徹する



単品 380円

H21/2期の施策

2. 業務システムの抜本的改革によるローコスト・オペレーションの構築

(1) 就業管理システムの完全運用

稼働計画どおりの実行

(2) 在庫管理システム改革

店舗在庫日数5日以内 物流センターで管理

(3) 店舗作業の削減

(4) 現状FRの改革を行う

現状FRの改革への取り組み

スクラップ&ビルド(scrap and build)の推進

(1)不振店のスクラップ推進

キャッシュ・フロー上、赤字額の大きい店舗や赤字額の拡大が急激な店舗等について、支援策とその効果、改善の見込みの有無等を十分検討のうえ、黒字転換が難しい店舗については速やかに退店する。

現状F Rの改革への取り組み

(2)新店フォーマットの開発

60坪84席タイプ

総投資3千万円

ROI 25%

総資本回転率2回転

経常利益率12.5%

現状FRの改革への取り組み

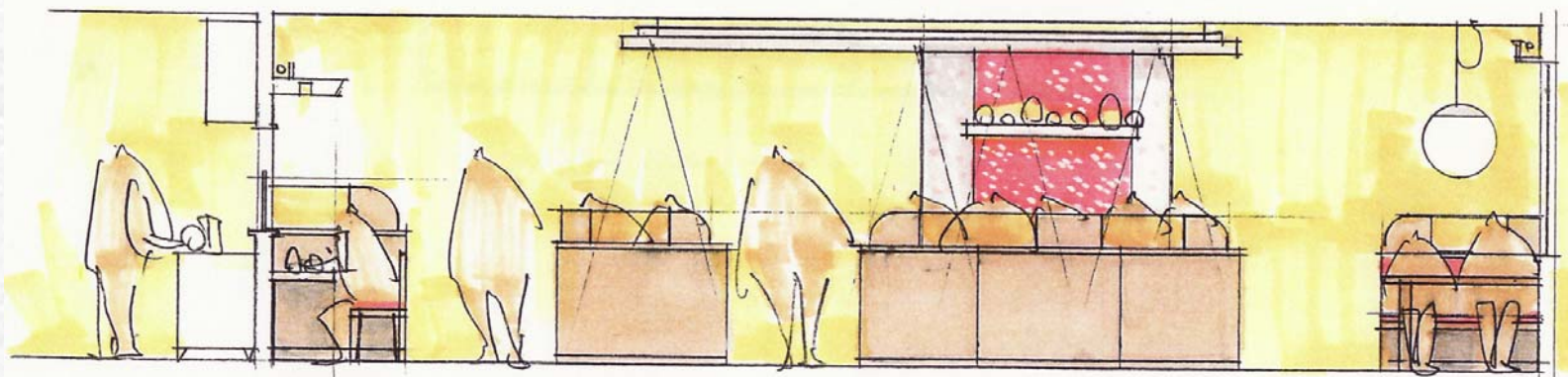
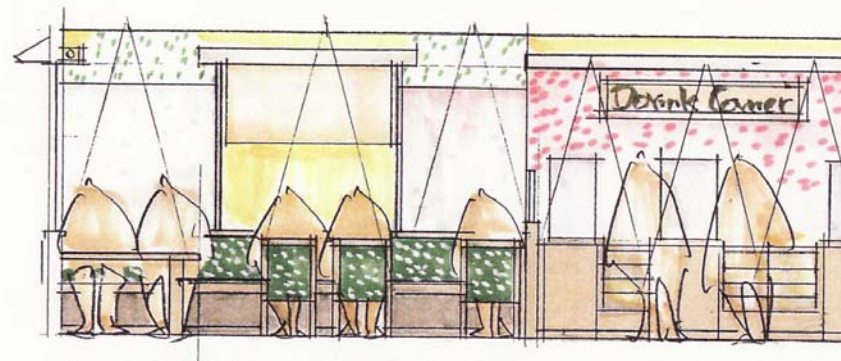
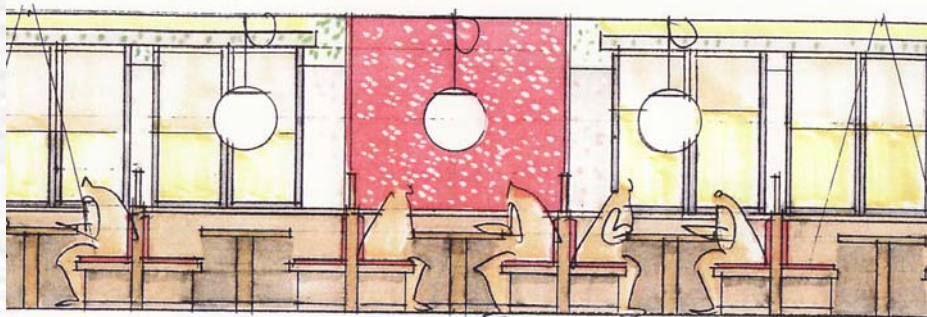
損益計算書(月次)			(H20.03～H20.08の平均値)			
(単位：千円)						
	計画		中新田店		古川店	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	5,000	100.0	5,219	100.0	6,913	100.0
原価	1,600	32.0	1,660	31.8	2,115	30.6
売上総利益	3,400	68.0	3,559	68.2	4,798	69.4
人件費	1,100	22.0	1,133	21.7	1,528	22.1
エネルギー費	350	7.0	371	7.1	297	4.3
諸経費	300	6.0	214	4.1	214	3.1
地代家賃	200	4.0	188	3.6	508	7.3
減価償却費	250	5.0	496	9.5	131	1.9
販管費計	2,200	44.0	2,401	46.0	2,678	38.7
営業利益	1,200	24.0	1,158	22.2	2,119	30.7
本部費	400	8.0	418	8.0	553	8.0
経常利益	800	16.0	741	14.2	1,566	22.7

現状FRの改革への取り組み

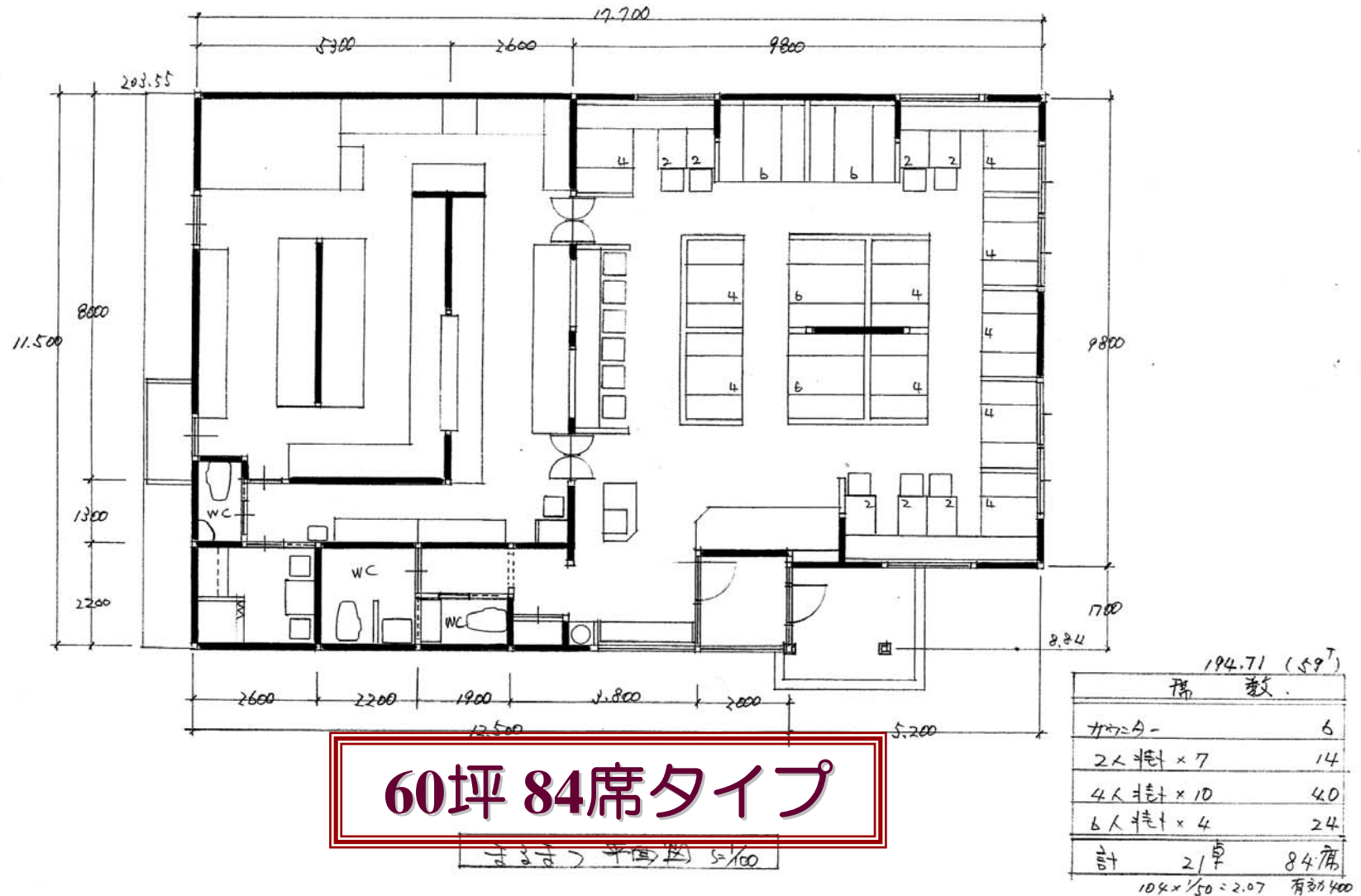


17 和食を中心とした日常食を High quality, Low price で!

現状F Rの改革への取り組み



現状FRの改革への取り組み



現状F Rの改革への取り組み

メニューへの取り組み

- ・ ベーシックアイテムに徹する
価格を下げる
品質を上げる
- ・ 調理の種類を統一する
蒸す
茹でる
揚げる

H21/2期の施策

3. 優秀な人材の確保と社員の能力向上

キャリアプランに基づいた、各段階の
テキスト作成に遅れ

作業 ⇒ マニュアル

不備

整合性

画一的

H21/2期の施策

4. 部門別予算管理システムの確立による経費10%削減

販売費及び一般管理費の削減

前中間期比 $\Delta 351$ 百万円 $\Delta 10.2\%$

◆人件費	前中間期比	$\Delta 177$ 百万円	$\Delta 10.6\%$
◆諸経費	//	$\Delta 113$ 百万円	$\Delta 20.1\%$
◆固定費	//	$\Delta 78$ 百万円	$\Delta 8.8\%$

エネルギー費は17百万円増加 $+5.2\%$

下半期の経営課題

5. 現場からの「不」の一掃による マネジメント力強化

幹部社員(役員・執行役員含む)による
繁忙日の店舗チェック

「不」の発見

「不満」 「不便」 「不信」

「不安」 「不平」

下期計画（前期・計画比較）

（単位：百万円、％）

	前年下期		H21/2期下期計画		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比
売上高	4,354	100.0	4,155	100.0	95.4
売上原価	1,389	31.9	1,327	31.9	95.5
売上総利益	2,965	68.1	2,828	68.1	95.4
販売費及び一般管理費	3,216	73.9	2,766	66.6	86.0
営業利益	△251	△ 5.8	62	1.5	—
経常利益	△ 233	△ 5.4	42	1.0	—
特別損失	171	3.9	5	0.1	2.9
税引前利益	△404	△ 9.3	37	0.9	—
新規出店店舗数	2店舗		0店舗		

通期計画（前期・計画比較）

（単位：百万円、％）

	H20/2期		H21/2計画		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比
売上高	9,412	100.0	8,812	100.0	93.6
売上原価	2,939	31.2	2,827	32.1	96.2
売上総利益	6,473	68.8	5,985	67.9	92.5
販売費及び一般管理費	6,660	70.8	5,859	66.5	88.0
営業利益	△ 187	△ 2.0	126	1.4	—
経常利益	△ 182	△ 1.9	81	0.9	—
特別損失	234	2.5	7	0.1	3.0
税引前利益	△ 416	△ 4.4	74	0.8	—
当期純利益	△ 529	△ 5.6	11	0.1	—

『 和風レストラン まるまつ 』

いつでも どこでも だれにでも
利用できる食の場の提供

和食を中心とした日常食をLow price、High qualityで！



店舗外観（80坪 128席）



店内イメージ



カルラの意味

迦留羅（カルラ）とは、神話上の架空の大鳥であり、大勢の仲間と助け合って住み、両羽根をひろげると宇宙をも包んでしまうといわれています。人も良き助力者や仲間の助けを借りてこそ事を成すことができるという事で、仲間の協力があれば、その力は限りない可能性を持ち、宇宙までもひろげられるという思いを表しています。

マークの意味



5本の線は迦留羅の羽根を表し、世界に向けての飛躍の意味です。また、外食産業繁盛の原則である

1. 商品力 2. サービス力 3. 店舗力 4. 立地力 5. 企画開発力
の5本柱をも表しています。

羽根を支える二つの柱は安定を意味し、羽根を品質（Q）とするならば、左側の部分は研ぎ澄まされたクレンリネス（C）であり、右側の部分はまろやかでどの様にも対応できるサービス（S）を意味しています。

本日は有り難うございました。

弊社に関する問い合わせ先：経営企画担当取締役 清水あさ子

TEL：022-351-5888 FAX：022-351-6500

E-mail simizu@re-marumatu.co.jp [http:// www.re-marumatu.co.jp](http://www.re-marumatu.co.jp)